保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は
お買いあげの販売店にご相談ください。

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、山梨県、静岡県、新潟県、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

つながるね 24時間 365日 はなせるね

新製品などの商品選び、お取り扱い・お手入れ方法などのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048
FAX 03-3425-2101（365日：8:00〜20:00受付）

※電話受付：365日・24時間受け付けます。　※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買いあげの日から1年間です。** 詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- クリーナーの補修用性能部品は製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- クリーナーに使用している部品は性能向上のため一部予告なしに変更することがあります。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　｜　持込修理

15ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店にご相談ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買いあげの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買いあげ日	年　月　日
	お買いあげ店名	電話（　　）　−

愛情点検

●長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！

このような症状はありませんか。	●スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。 ●コードを動かすと運転が止まるときがある。 ●こげくさい臭いがする。 ●その他の異常がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買いあげの販売店に点検・修理をご相談ください。

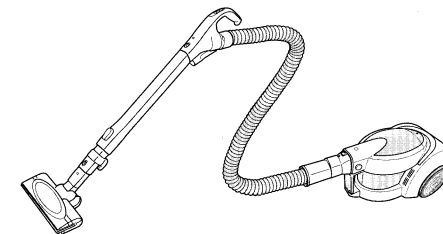
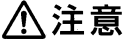
株式会社**東芝** 家電機器社

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1（東芝ビルディング）

AAW−IHM−1

TOSHIBA

東芝クリーナー（家庭用）
取扱説明書

形名
VC-R9C

もくじ

- このたびは東芝クリーナーをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元において ご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- この取扱説明書は再生紙を使用しています。

安全上のご注意 必ずお守りください

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示の説明

⚠警告 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。

⚠注意 「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止

⦸は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

分解禁止

改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買いあげの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

禁止

コード、電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

100V・15A以上

電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災・感電の原因になります。

プラグを抜く

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で抜き差ししない
感電やけがをすることがあります。

禁止

灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物を吸わせない
火災の原因になります。

水場での使用禁止

水まわりや風呂場での使用は絶対にしない
感電する場合があります。

禁止

コードは黄マーク以上引き出さない
コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない
コードが破損し、火災・感電の原因となります。

接触禁止

床ブラシの回転部、自動停止装置など底面には触れない
手などをけがすることがあります。特に小さなお子さまにご注意ください。

禁止

コードを床ブラシの回転部に巻き込まない
コードの損傷により、感電することがあります。

水洗い禁止

本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部・前取り吸い口を除く）は絶対に水洗いしない
感電、故障する場合があります。

根元まで差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電や発熱による火災の原因になります。

ほこりをとる

電源プラグとコンセントのほこりなどは定期的にとる
感電や発熱による火災の原因になります。

⚠注意

プラグを持つ

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
プラグの刃が変形したり、コードが断線して感電やショート、過熱により発火することがあります。

禁止

吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体の変形・発火の原因になります。

プラグを持つ

コードを巻き取るときは電源プラグを持って行う
電源プラグがあたってけがをすることがあります。

プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

禁止

排気口をふさがない
火災の原因になります。

火気禁止

火気に近づけない
本体の変形によるショート・発火の原因になります。

まっすぐに引く

電源コードは、まっすぐ引き出す
電源コードを上に引っ張りながら引き出すと本体の引き出し部と電源コードがこすれて破損し、感電や発火の原因になります。

禁止

引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しない
爆発や火災の原因になります。

禁止

ホース差込口、ホース、伸縮延長管の接点にピンなどを入れない
感電や破壊の原因になります。

お願い

このクリーナーは家庭用です

- 業務用には使用しない。
- 掃除目的以外には使用しない。

つぎのものは吸わせない

■**水などの液体や湿ったゴミ。**
■ガラス、ピン、刃物など鋭利なもの。
■多量の砂（ペット用砂、パウダー状の粉末など）、小石など目詰まりするもの。
■食品用ラップなどの通気性の悪いもの。
● **故障やダストカップの傷つきの原因になります。**

ホース、伸縮延長管の先端で直接お掃除しない

- 床が傷ついたり、故障の原因になります。

床ブラシを床に強く押し付けたり、本体を急激に引っ張ったり、壁、家具などに強くあてない

- 床、たたみの傷つきや、壁、家具などへの色の付着防止のため、力を入れずに片手で軽くすべらせてください。伸縮延長管に手をそえると伸縮延長管・床ブラシに無理な力が加わることがあります。
- 床用ワックス・つや出し床用洗剤をご使用の場合、塗布面にこすり傷がつくことがあります。
- やわらかく傷つきやすい木床材や、ワックス上のこすり傷が気になる場合は、別売品のソフトフロアブラシのご使用をお奨めします。
- 砂ゴミの上で床ブラシを使うと、床に傷をつけることがあります。

各部のなまえとはたらき

調節ボタン

●調節ボタンを押しながら長さを調節してください。

●長さ調節時や使用時に「シャカシャカ」と音がすることがありますが、内部部品の振動音で故障ではありません。

お願い

運転中に吸込口をふさいで、調節ボタンを押さないでください。

急に縮んでけがをすることがあります。

調節ボタン

はずすときはボタンを押しながら

手元スイッチ（5ページ）

ハンドル兼用コード巻取りボタン（14ページ）

排気口

赤マーク

黄マーク

コードは黄マーク以上引き出さないでください。（断線の原因になります）

接点

すき間ノズル（7ページ）

カチッ

フィルターお手入れサイン（10ページ）

形名表示位置

伸縮延長管

ふた

電源プラグ

ホース

接点

カチッ

接点

スタンドストッパー（14ページ）

カチッ

コード

運転中はコードの巻き取り、引き出しをしないでください。

車輪

前ハンドル

排気口

ふたクランプ（8ページ）

けが注意ラベル

前取り吸い口

床ブラシ（6ページ）

ホース差込口

はずすときはボタンを押しながら

必ず取り付けてください。

排気清浄フィルター（11ページ）

フィルター（らくらくフィルタークリーニング）（5 8ページ）

ダストカップ（8~11ページ）

取り付けないと故障の原因となります。

光触媒&竹炭フィルター（12ページ）

●ダストカップのイヤなニオイをやわらげます。

●臭いの感じかたは個人差・体調・環境条件によって異なることがあります。

■標準付属品

床ブラシ（1個）（パワーイオンヘッド）	ホース（1本）	伸縮延長管（1本）

■応用付属品

すき間ノズル（1個）

7ページを参照して取り付けてください。

■別売品

●下記の価格は2003年5月現在の希望小売価格です。変更する場合もあります。

フリーアングルブラシ付3段伸縮すき間ノズル VJ-N2 ¥2,500（税別）	丸ブラシ（馬毛製） VJ-M2U ¥1,200（税別）	ソフトフロアブラシ VJ-F110 ¥4,300（税別）	ふとん用ブラシ VJ-B4 ¥6,000（税別）

お掃除のしかた

1 電源コードをまっすぐ引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

2 手元スイッチを押す

自動

床ブラシを使った通常のお掃除をするとき

●ゴミのたまり具合に適した吸込力にコントロールします。

●移動時など床ブラシを持ち上げたときは、吸込力を弱めます。

を押す

手動

「強」でお掃除するとき

じゅうたんなど強い吸込力が必要なときに

を1回押す

「弱」でお掃除するとき

静かにお掃除したいときやカーテンなど吸い付いて操作がしにくいときのお掃除に

すき間ノズルを使ったお掃除に

を2回押す

手動 を押すごとに「強↔弱」が切り替わります。

運転を止めるとき

※電源プラグがコンセントに差し込まれていると、「切」のときでも約2Wの電力を消費しています。

を押す

お知らせ ●大きなゴミなどを急激に吸い付かせた場合、**操作を軽くするため吸込力を弱めます。**

お願い ●大きなゴミを吸い付かせたまま**約3分間使用すると**、モーターの過熱を防ぐため、**運転が止まります。**このようなときは、ゴミを取りのぞき手元スイッチを押してください。再びご使用になれます。

らくらくフィルタークリーニング

ちり落しつまみを回転させるだけで、手を汚さず簡単にフィルターのちり落しができます。（8ページ）

お願い

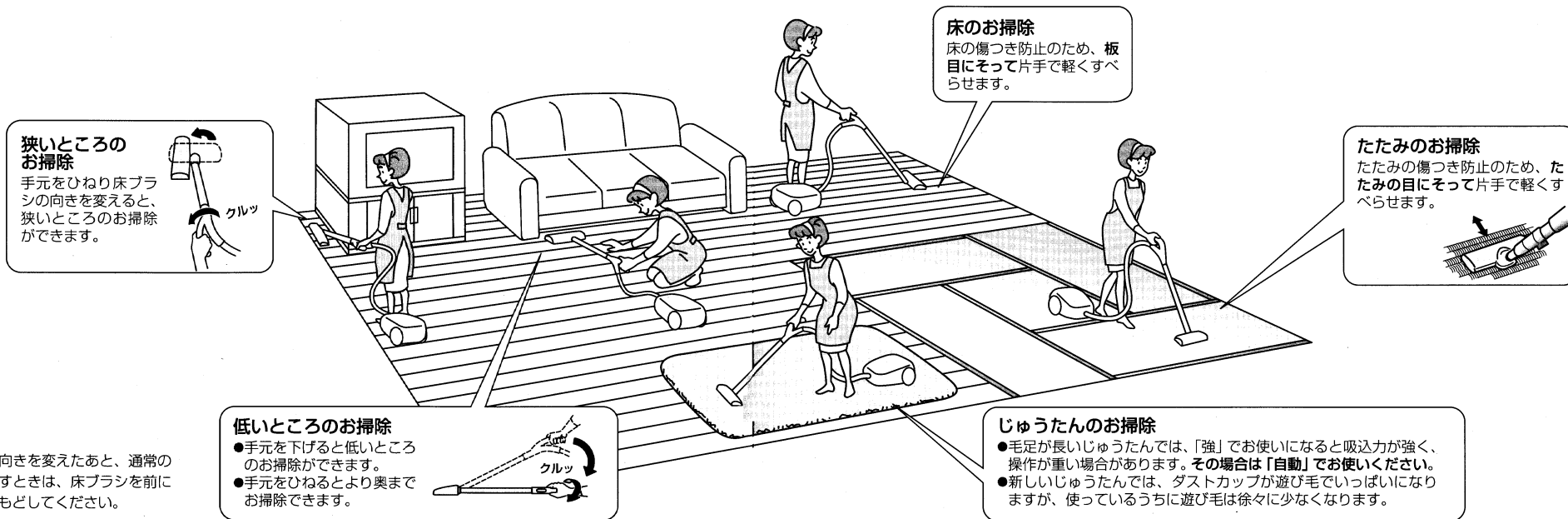
●ゴミを捨てる前に必ずおこなってください。

お掃除のコツ

狭いところや低いところのお掃除をするときは、スタンドストッパーが床面、家具などにあたらないよう注意してください。

狭いところのお掃除
手元をひねり床ブラシの向きを変えると、狭いところのお掃除ができます。
クルッ

床のお掃除
床の傷つき防止のため、**板目にそって**片手で軽くすべらせます。

たたみのお掃除
たたみの傷つき防止のため、**たたみの目にそって**片手で軽くすべらせます。

お願い
床ブラシの向きを変えたあと、通常の位置にもどすときは、床ブラシを前に押しながらもどしてください。

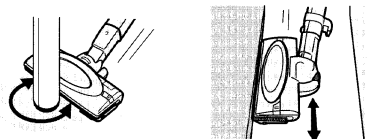
低いところのお掃除
- 手元を下げると低いところのお掃除ができます。
- 手元をひねるとより奥までお掃除できます。

クルッ

じゅうたんのお掃除
- 毛足が長いじゅうたんでは、「強」でお使いになると吸込力が強く、操作が重い場合があります。**その場合は「自動」でお使いください。**
- 新しいじゅうたんでは、ダストカップが遊び毛でいっぱいになりますが、使っているうちに遊び毛は徐々に少なくなります。

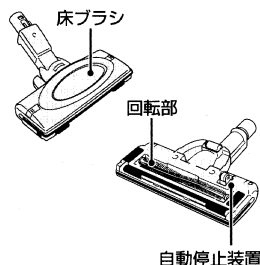
床ブラシの使いかた

■前取り吸い口について

前取り吸い口でテーブルの脚に溜まったホコリや狭いすき間や壁ぎわのゴミをとります。

■回転部について

⚠警告 **床ブラシの回転部、自動停止装置など底面には触れない**
手などをけがすることがあります。

この床ブラシには、自動停止装置がついており、床ブラシを床面に置くと回転部が回転し、床面から浮かすと回転部が止まります。

- 床ブラシを振ると「カラン」と音がしますが、自動停止装置のボールとレバーの作動音で故障ではありません。
- 床ブラシを持ち上げたときは、安全のため回転部は止まります。
- 床ブラシは、床面にゆっくりとおろしてご使用ください。落とすように使用すると、自動停止装置がはたらき、回転部の回転が止まることがあります。
- ホットカーペットや毛足の長いじゅうたん、毛の密度の高いじゅうたんなどじゅうたんの種類によっては、回転部の回転が止まることがあります。このようなときは、(切)を押し、運転を止め再び (入/自動) を押してお使いください。

すき間ノズルの使いかた

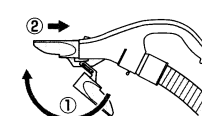
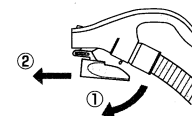
通常は、(入/自動) を2回押し、「弱」でお使いください。

※強い吸込力でお掃除するときは、(入/自動) を1回押し、「強」でお使いください。

- **床などに使わない。傷をつけることがあります。**
- 20分以上続けて使用しない。モーターに負担がかかります。
- 「強」で使用すると、保護装置がはたらくことがあります。
- **すき間ノズルをフックから無理にはずさない。フックが変形して収納できなくなります。**
- すき間ノズルは衝撃により収納状態でもはずれることがあります。

すき間ノズルは、ホースの手元スイッチ部の下側に収納できます。
- 伸縮延長管の先にもセットして使用できます。

取り付けるとき
①すき間ノズルの取付部をフックと平行にし、止まるまで差し込む
②すき間ノズルの先を突起部にはめ込む

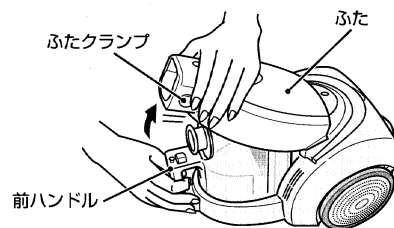
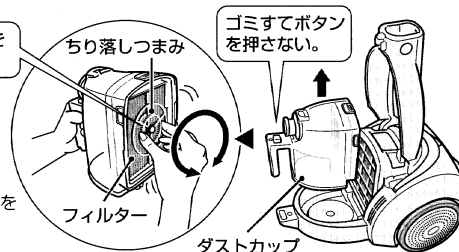
ホースにセットするとき
①すき間ノズルの先端を突起部からはずし、フックに引っかけたまま、ノズルの先端を180° 回転させる
②ホースの先端にしっかり差し込む

取りはずすとき
①すき間ノズルの先を突起部からはずす
②フックと平行に、すき間ノズルを引き抜く

ゴミの捨てかた

- お掃除が終ったらこまめにゴミを捨てましょう。
- ゴミすてラインを越えると吸込力が低下します。
- ダストカップの中でゴミが回転しなくなっても、ゴミすてライン以下であれば吸込力に影響はありません。

※ゴミを捨てる前には 切 を押して運転を止め、電源プラグを抜き、ホースをはずしてください。

お願い

- ゴミの種類によりゴミすてラインにゴミがたまる前に吸込力が弱くなる場合があります。このようなときは、ダストカップのゴミを捨て、ネットのゴミを取りのぞき、フィルターのお手入れをしてください。8～11ページ

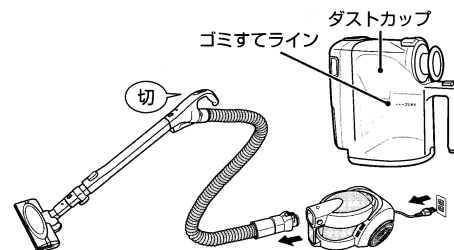
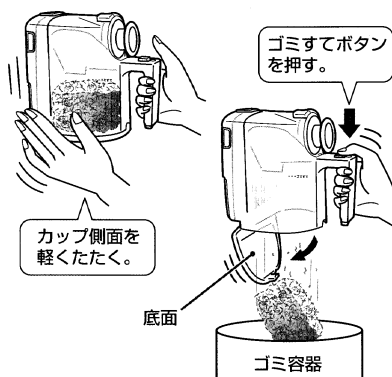
1 前ハンドルを押さえ、左右のふたクランプを押しながらふたを開ける

2 ダストカップを取り出し、フィルターのちり落しをする

お願い

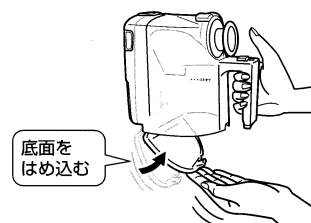
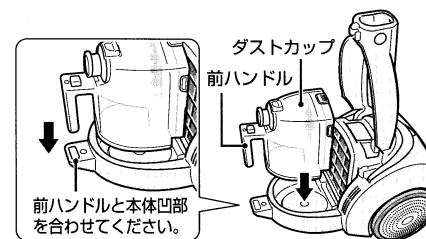
- 本体からダストカップをはずすとき、ゴミすてボタンを押さないでください。ゴミがこぼれます。
- 吸込力が弱い場合、さらに数回転させてください。

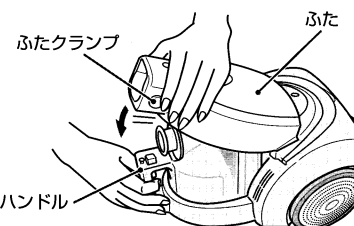
3 ダストカップを大きめの紙袋（ポリ袋）や、ゴミ容器の中に入れ、前ハンドルのゴミすてボタンを押す

- ダストカップの底面が開き、中のゴミが捨てられます。
- ゴミを捨てる前にダストカップ側面を軽くたたくと、ゴミが落ちやすくなります。

お願い

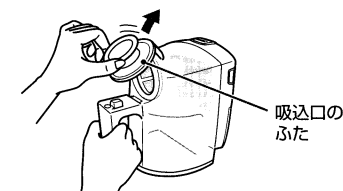
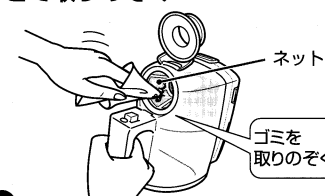
- ダストカップの底面は直接手で開けられません。ゴミを捨てるときは必ずゴミすてボタンを押してください。
- ダストカップの底面には無理な力を加えないでください。はずれることがあります。

4 ダストカップの底面を手で戻しカチッと音がするまではめ込む

- ダストカップの底面が開いた状態でゴミすてボタンを押しても底面は戻りません。

5 本体にダストカップをのせる

6 前ハンドルを押さえ、左右のふたクランプを押しながらふたを閉める

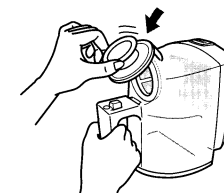
お願い

- ふたで指をはさまないよう注意してください。

ネット（ダストカップ）のゴミの取りかた

大きなゴミを吸ったときや、ゴミすてラインを越えてゴミを吸ったときなど、ダストカップ上部のネット部にゴミが押し出されて残ってしまうことがあります。
※週1～2回は吸込口のふたを開け、中のゴミを取りのぞいてください。

1 吸込口のふたを開ける

2 ネットについたゴミをティッシュペーパーなどで取りのぞく

お願い

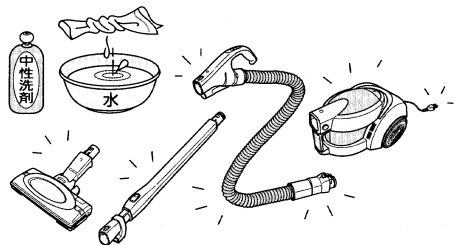
- ネットを強く押さないでください。破損の原因になります。

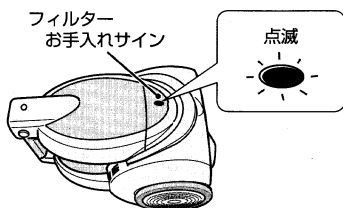
3 吸込口のふたを閉める

お手入れ

●ゴミを捨てても吸い込みが弱いとき、フィルターのお手入れをしてください。
※お手入れの前には 切 を押して運転を止め、電源プラグを抜き、ホースをはずしてください。

⚠警告　本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部、前取り吸い口を除く）は絶対に水洗いしない
感電・故障する場合があります。

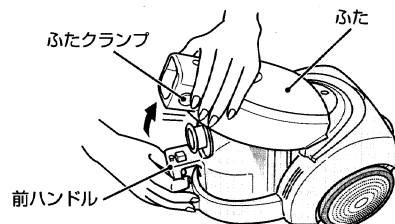
本体・付属品

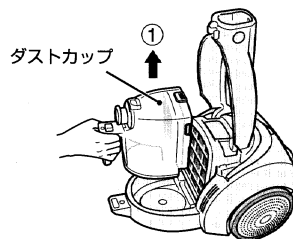
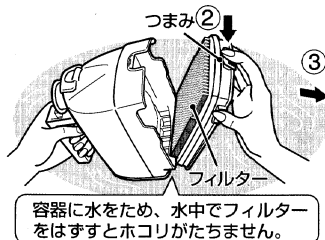
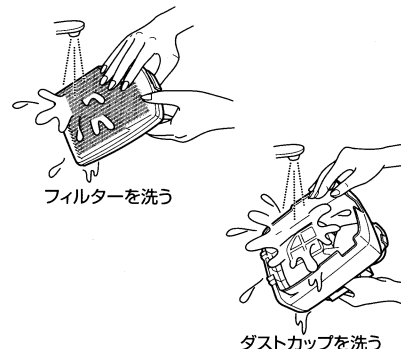
本体や付属品が汚れたときは、水または中性洗剤をふくませた布でふいてください。ベンジンなどでふくと、ひび割れ、変形、変色の原因になります。

フィルターお手入れサイン

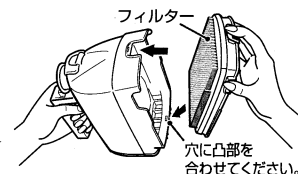
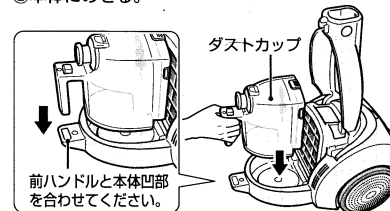
フィルターのお手入れ時期の目安をお知らせします。
フィルターが目づまりするとフィルターお手入れサインが点滅します。フィルターお手入れサインが点滅してからそのまま使用になると、モーターの保護のために自動的にパワーが下がります。

お願い
- 吸込力を持続させるために月に一度を目安にお手入れしてください。
- お手入れの頻度はゴミの種類や使用頻度により異なります。
- 延長コードを使用したり、他の家電製品と同一コンセントでお使いになると、電源電圧の低下により、フィルターお手入れサインが早く点滅する場合があります。定格15A以上の単独コンセントでご使用ください。

フィルター

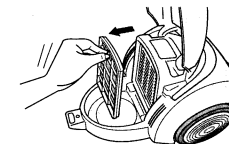
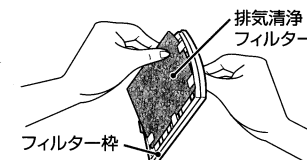
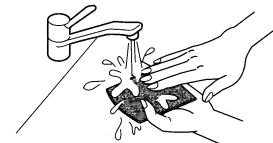
■フィルターのお手入れ方法

1 前ハンドルを押さえ、左右のふたクランプを押しながらふたを開ける

2 ダストカップを取り出し、フィルターをはずす

①ダストカップを本体から取り出す。

②つまみを押してロックを解除する。
③フィルターをはずす。

3 フィルター、ダストカップを洗った後、水気を切り、十分に自然乾燥させる

4 フィルターをセットし、ダストカップを本体にのせる

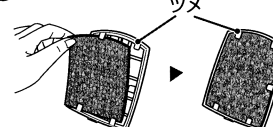
①ダストカップにセットする。

②本体にのせる。

お願い
- フィルターは強く引っ張らないでください。破損の原因になります。
- お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままでご使用になると故障の原因になります。
- 毛のかたいブラシで洗ったり、ネットを強く押して洗わないでください。破損の原因になります。
- 性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。

■排気清浄フィルター

1 フィルター枠をはずす

2 フィルター枠から排気清浄フィルターをはずす

3 押し洗いをし、陰干しして十分に乾燥させる

お願い
- 性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具・ドライヤーなどで乾かさないでください。

4 排気清浄フィルターをフィルター枠にはめる

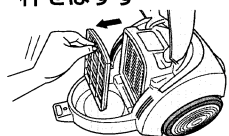
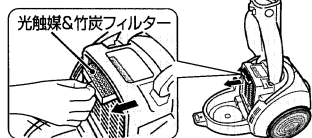
5 フィルター枠を本体にはめ込む

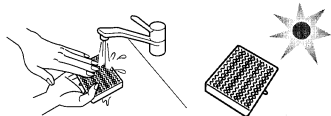
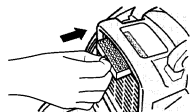
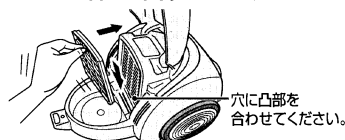
（つづく）

お手入れ（つづき）

フィルター（つづき）

■光触媒＆竹炭フィルター

すぐれた吸着・脱臭効果のある光触媒シート（竹炭入り）を用いたフィルターです。光触媒により太陽光に含まれる紫外線の作用で悪臭物質を分解するため、太陽光に当てることで消臭効果が復帰します。通常はお手入れの必要はありませんが、消臭効果が減少したと感じられるときはお手入れをしてください。（臭いの感じかたは体調・環境条件によって異なります。）

1 フィルター枠をはずす

2 光触媒＆竹炭フィルターをはずす

3 光触媒＆竹炭フィルターを水洗いし、天日で十分に乾燥させる

※このときフィルターを変形させると本体に差し込めなくなりますので、注意してください。

4 光触媒＆竹炭フィルターを本体に差し込む

5 フィルター枠を本体にはめ込む

お知らせ

- 新しい排気清浄フィルターおよび光触媒＆竹炭フィルターは、お買いあげの販売店を通じて、取りよせることができます。（有料）

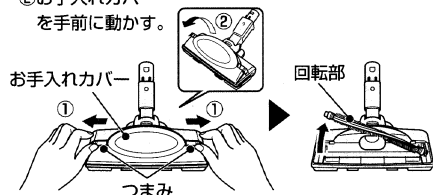
床ブラシ

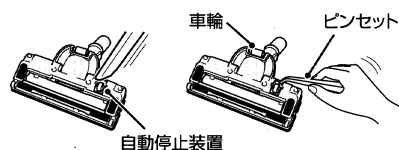
■床ブラシ

お手入れは、伸縮延長管から取りはずしておこなってください。
回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。

週1～2度、お掃除の最後にお手入れしてください。

1 お手入れカバーをはずし、回転部を取り出す

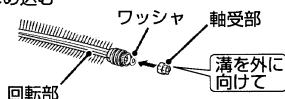
①つまみを矢印の方向に動かす。
②お手入れカバーを手前に動かす。

2 ゴミを取りのぞく

自動停止装置にからみついたゴミ、車輪のまわりに入ったゴミを吸い取り、ピンセットで取りのぞく。

お願い

- ゴミがたまったままお使いになると**車輪が回らず、床、たたみを傷つける**ことがあります。

3 回転部にからみついたゴミを取りのぞく

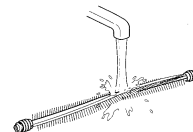
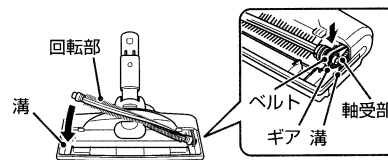
①回転部に糸くずや毛・ペット毛などがからみついたときは、はさみで取りのぞく。
②回転部から軸受部をはずし、からみついたゴミを取りのぞく。

③軸受部をはめ込む

お願い

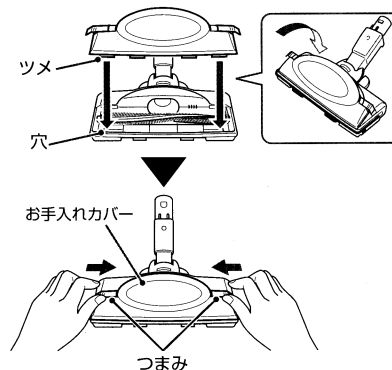
- 軸受部をはずしたときにワッシャが一緒にはずれることがあります。このようなときは、**必ずワッシャを取り付けてから**軸受部をはめ込んでください。
- 回転部の軸受部には注油しないでください。回転不良の原因になります。

4 回転部を水で洗い、陰干しして十分に乾燥させる

お願い

- 洗剤、漂白剤などを使用しないでください。
- 毛のかたいブラシで洗わないでください。
- 暖房器具、ドライヤーなどで乾かさないでください。

5 十分な乾燥を確認して回転部を取り付ける

お願い

- 回転部のギアにベルトを確実に取り付け、軸受部を溝に入れてください。

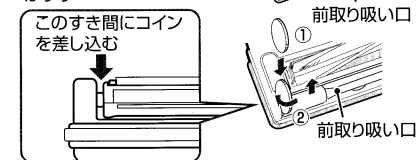
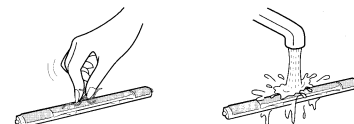
6 お手入れカバーを取り付ける

お願い

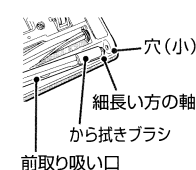
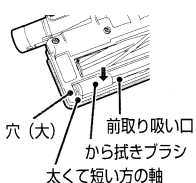
- お手入れカバーは、浮きがないようにつまみで確実にロックしてください。

■前取り吸い口

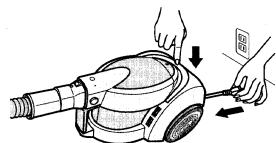
前取り吸い口にゴミがからみつくと作動しなくなります。
週1～2度、お掃除の最後にお手入れしてください。

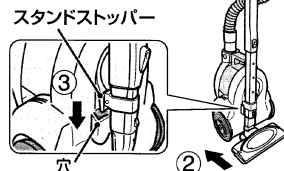
1 前取り吸い口をはずす

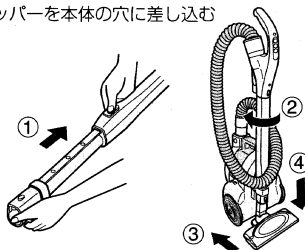
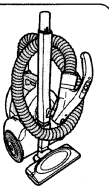
①床ブラシと前取り吸い口のすき間にコインを差し込む
②コインを回転させながらはずす

2 前取り吸い口にからみついたゴミを取りのぞき、水で洗い、陰干しして十分に乾燥させる

3 十分な乾燥を確認して前取り吸い口を取り付ける

①から拭きブラシを図の向きにして、床ブラシの穴（小）へ前取り吸い口の細長い方の軸をはめ込む。

②床ブラシの穴（大）へ前取り吸い口の太くて短い方の軸が入るように押し込む。

③前取り吸い口がスムーズに動くことを確認する。

お掃除終了後は

お掃除終了後は電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを持ち、ハンドル兼用コード巻取りボタンを押しながらコードを巻き取ります。巻き取れない場合は、コードを1〜2m引き出してふたたび巻き取ってください。

スタンド収納

①伸縮延長管を1回転させ、ホースを巻きつける
②床ブラシを滑らせながら本体側に引く
③スタンドストッパーを本体の穴に差し込む

ミニ収納　押し入れなど、高さの低い場所での収納に

①伸縮延長管を縮める
②伸縮延長管を1回転させ、ホースを巻きつける
③床ブラシを滑らせながら本体側に引く
④スタンドストッパーを本体の穴に差し込む

ホースの握り部をはずすとより低くなります。

お願い

- スタンドストッパーがはずれることがありますので、収納状態で持ち運ばないでください。
- スタンドストッパーがはずれることがあり、標準付属品の床ブラシ取り付け時以外は、使用できません。

保護装置について

モーターの過熱を防ぐため、本体内部に運転を止める保護装置がついています。次のようなとき、保護装置がはたらきますのでお手入れをしてください。

本体の保護装置がはたらくとき

- ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けたとき
  砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミなど、吸い込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置がはたらくことがあります。
- ホースや伸縮延長管や床ブラシなどにゴミがつまったまま運転し続けたとき
- すき間ノズルで連続運転使用したとき
- 夏期など室温が35℃を越えるとき
- 吸込口や排気口をふさいで連続運転し続けたとき
- フィルターお手入れサインが点滅したまま使用したとき

保護装置がはたらいた場合

1 **手元スイッチの 切 を押し、電源プラグをコンセントから抜く**

2 **ゴミを捨てるか、またはホース、伸縮延長管、床ブラシなどにつまったゴミや排気口などをふさいでいる物を取りのぞく**

3 **涼しい場所におく**

▼

約1時間後、保護装置が解除され、再び使用できます。

床ブラシの保護装置がはたらくとき

床ブラシのモーターの過熱を防ぐため、回転部（ブラシ）の回転が自動的に停止します。

回転部（ブラシ）を回転させたまま同じ場所に放置したり、床に強く押し付けたとき

回転部（ブラシ）に異物を巻き込んだとき。

直しかた

手元スイッチの 切 を押し、床ブラシを伸縮延長管からはずし、床ブラシに巻き込んだ異物を取りのぞきます。

12ページ

保護装置が解除され、再び使用できます。

このようなときは

⚠警告

改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買いあげの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

修理サービスを依頼する前に
- ご使用中に異常が生じたときは、電源プラグを抜き、約15秒後にふたたび差し込んで動作を確認してください。それでも異常が直らないときは、次の点をお調べください。

このようなときは	調べるところ	直しかた	参照ページ
モーターが回転しない	●ホースが本体に差し込まれていますか。	→しっかり差し込んでください。	4
	●ダストカップがゴミでいっぱいになったり、ホース・伸縮延長管にゴミがつまっていませんか。	→本体の保護装置がはたらいています。	14
	●床ブラシにゴミが吸い付いていませんか。	→本体の保護装置がはたらいています。	14
モーターの回転が変動する	●ゴミがいっぱいたまったままお使いになると、本体保護のため吸込力を弱める機能がはたらく場合があります。	→マイコンによる制御で異常ではありません。	5
吸込力が弱い	●ダストカップや上部のネット部がゴミでいっぱいになっていませんか。	→ゴミを捨ててください。	8〜9
	●ダストカップ、フィルター・排気清浄フィルターの汚れがひどくありませんか。	→お手入れしてください。	10〜11
	●フィルターお手入れサインが点滅していませんか。	→お手入れしてください。	10〜11
	●ホース・伸縮延長管・床ブラシにゴミがつまっていませんか。	→ホース・伸縮延長管・床ブラシをはずしてゴミを取りのぞいてください。	4
床ブラシの回転部が回転しない	●回転部のまわりに糸くずがたくさん巻きついていませんか。	→取りのぞいてください。	12〜13
	●ブラシ本体とお手入れカバーの間にすき間ができていませんか。	→お手入れカバーを取付け直してください。	12〜13
	●大きなゴミか、薄い敷物を巻き込んでいませんか。	→床ブラシの保護装置がはたらいています。	14
	●自動停止装置にゴミがついていませんか。	→取りのぞいてください。	12
コードが巻き取れない 引き出せない	●コードが片よって巻き取られていませんか。	→1〜2m引き出してふたたび巻き取ってください。	14
	●コードがからんでいませんか。	→ハンドル兼用コード巻取りボタンを押しながら「巻き取る」「引き出す」操作を2〜3回くり返してください。	14

それでも異常のある場合は、16ページの保証とアフターサービスをご参照ください。
- ご使用中、本体及びコード、排気風が熱く感じてきますが異常ではありません。モーターの熱のためです。
- ゴミがたまってくるとモーターの回転数が高くなり音が少し大きくなりますが異常ではありません。
- ご自分での修理は、危険な場合がありますから絶対にしないでください。
- 電源プラグを差し込むとき、火花が散る場合がありますが、故障ではありません。

仕様

電源	消費電力	外形寸法 長さ	外形寸法 幅	外形寸法 高さ	質量	吸込仕事率	運転音	集じん容積	コードの長さ
100V 50-60Hz 共用	1000W 〜約280W	337 mm	250 mm	220 mm	5.0kg（ホース・伸縮延長管・床ブラシ含む）	500W〜約90W	57dB 〜約53dB	0.8L	5m

手元スイッチ「強」にて消費電力1000W、吸込仕事率500W、運転音57dB